

117期通信

北海道小樽潮陵高等学校3学年通信
令和5年1月16日(月)発行 第11号
潮陵3学年団

☆勝負はこれから

あけましておめでとうございます。今年もよろしくお祈りします。令和5年は、通う学校や住む場所、交友関係や心境など多くの変化がある年になるでしょう。それに加え世の中も刻一刻と変わっていきます。老子は、「人生は、自然に起こる変化の連続です。変化に抵抗してはいけません。なぜなら抵抗は、悲しみを生み出すだけだから。現実には現実として受け入れなさい。物事は、それが望むままに、自然に受け流すのです」と言っています。この言葉だけではなく万事において、物事をどう解釈するかは人それぞれです。私は変わった方がいいものや変えた方がいい考え方などがある一方で、変わらない方がいいものもあると思っています。いずれにしても、何を変え何を変えないかの選択権は君たちが持っています。

さて、共通テストを受験した皆さんお疲れ様でした。以下は、国公立大学の2次試験に向けたお話です。12/9(金)に行われた「大学入試情報分析報告会(11月実施の第3回全統共通テスト模試のデータを元に報告)」の内容ですので、明日以降全国から集計されたデータによって異なる部分が出てくる可能性もありますが、出願先を考える一助にしてください。以前にも話しましたが、今年の大学受験におけるキーワードは、**競争緩和**です。つまり、大学に入りやすくなっています。だからこそ、原則「**第一志望で勝負**」し、「**行ける大学ではなく行きたい大学**」を目指してほしいと思っています。出願先を決めたあとは、2/25(土)の前期2次試験、3/12(日)の後期2次試験までとにかく粘り強く粘り強く頑張ろう。困ったときは遠慮なく相談に来てください。先生方は、最後の最後まで君たちのサポートをします。ここからが本当の勝負ですよ。

<全国受験生の動向>

- ・受験人口は減(大学志願者数は減少し、合格者数は増えているので競争緩和が進んでいる)
- ・大規模私大の4年前の合格率は24%であったが、昨年の合格率は36%と上昇している。
- ・入学定員は増(国公立大学も入口が広がっている)
- ・初志貫徹組(リサーチに書いた大学と同じ大学に出願)の合格率が年々上昇している。
- ・昨年まではコロナの影響で地元志向と首都圏を敬遠する傾向が強かったが、今年は首都圏の大学を志望している割合が増加し地元志向に緩みが出ている。つまり、全国目線での出願にシフトしている。

<北海道の受験生の動向と道内大学のボーダー予想>

- ・北海道も国公立大、私大ともに志願者が減少。特に後期日程は前年比93%と減少が目立っている。
- ・北海道大学は文系理系ともに共通テストの得点率70%前半で十分勝負できると言われている。また文系は、前期後期ともに北大を考えている受験生が前年比で122%と増加しているが、前後期ともに2次試験で逆転のチャンスは大きい。総合理系は原則、倍率よりも得意な科目で勝負した方がよいだろう。
- ・小樽商科大学の後期の合格予想得点率は69%。夜間主の2次試験偏差値は昨年より-5ポイントダウン。
- ・釧路公立大中期の2次試験の偏差値は2年前から-7.5ポイントと大幅にダウンしている。
- ・北海道教育大学は前後期ともに3年連続志願者が減少している(前年比87%)。また、2次試験偏差値もすべての学科において2年前よりダウンしており、競争緩和が見られる。昨年は函館校(地域教育)の前期において、得点率36%で合格者が出ている。教育大学は出願にあたり志望理由書の提出あり。
- ・公立千歳科学技術大学は、前期・中期日程ともに公立化後はじめて志願者が減少。中期日程志望者の前期志望大学の多くは北大出願者であるため、前期中期ともに受験する生徒は厳しいことが予想される。
- ・室蘭工業大学・北見工業大学は前後期ともに得点率40%台がボーダーラインと予想されている。
- ・はこだて未来大のボーダー予想得点率は前期が50%、後期が65%である。
- ・看護系大学のボーダー予想得点率(前期)は、北大62%札医62%札市立61%旭医53%名寄51%。
- ・私大では、北海道科学大学が前年比112%、来年度公立化される旭川大学は前年比160%と増加。

